



2021 年度 大阪医科薬科大学(前期) 一般入学試験

I

- (1) 寒い秋の気温によって、その病の流行は突然収まった。1 世紀後に科学者たちが突き止めたのだが、その病は蚊に媒介されていた。
- (2) 黄熱病という公衆衛生問題を理解するために、医療従事者が診療の中で収集した全情報を共有するため。
(47 文字)
- (3) 貧しい移民が死亡者の大半を占めていたということに着目し、「多種多様な習慣を持つ人々が急に交流することが、その病が好発しやすい環境をもたらした」と、スミス氏は推測した。
- (4) 彼は、将来の医療従事者が踏襲できる手法を確立した。その手法には、最前線で働く数多くの専門家の努力を結集することによって、できる限り多くの証拠を集めるということも含まれていた。

II

- (1) 恵まれない環境で生まれた子供は、能力を習得できないリスク、生涯年収が少ないリスク、不健康、十代での妊娠、犯罪といった多様な個人的、社会的問題に直面するリスクが、はるかに高い。
- (2) 協力的な家庭環境にないせいで、子供時代、さらには大人になってからの能力に害が及ぶことを示す数多くの非実験的研究の証拠とこれは一貫している。
- (3) 要するに、個々が成功すること、機会がさらに平等になること、社会がより健康的になることを奨励するために、早期に介入し、後期の介入がその早期の努力を高めてくれるような社会政策へと大きく方向転換する必要が我々にはある。

III

- (1) Medical or agricultural advice based on Artificial Intelligence has been available even for those who live far away from modern hospitals and scientists.
- (2) Today Artificial Intelligence is definitely used for many purposes, and this will be even true in the future.
- (3) We mustn't forget there is possibility that evolution of Artificial Intelligence can cause unintended results which threaten several important aspects of human life.

【 講 評 】

英文和訳は全体的に標準レベル。とりわけ難問と言える下線部は存在しないが、文脈を正しく把握した上での訳出が必要。単語に関しても、辞書や単語帳で覚えた訳をそのままあてはめるといったことのないようにしたい。和文英訳に関しても、大阪医科薬科大学であることを考慮すれば易しいものだった。普段から正しい語法・文法知識に基づいて英文を書くという練習をしておくことが必要である。

I. 下線部和訳問題・説明問題	難易度：標準
(1)は、関係代名詞の as と判別し訳出できるかが鍵。(2)の説明問題は、該当箇所は容易に見つかるが、50字という字数制限に落とし込めるかがやや難しかった。(3)(4)は文構造自体は平易だが、自然な日本語にするには、一工夫必要であった。	
II. 下線部和訳問題	難易度：標準
(1)は、and が何を並列しているのかは間違えたくない。(1)(2)(3)どの問も文構造は容易に把握できるが、一つ一つの単語を直訳しただけでは、不自然な日本語になってしまうので前後の分脈から適切な訳を考えなければならなかった。	
III. 下線部英訳問題	難易度：易
大阪医科薬科大学に特徴的なややかたい日本語の和文英訳問題。語彙も構造も平易なものだったので、できる限り失点はしたくない問題であった。	

最終合格へのラストスパート!!!!!!

医学部後期入試対策講座

金沢医科大・藤田医科大

大阪医科薬科大・関西医科大・近畿大・久留米大 申し込み受付中

お問い合わせは ☎ 0120-148-276

イシャ ニナロウ